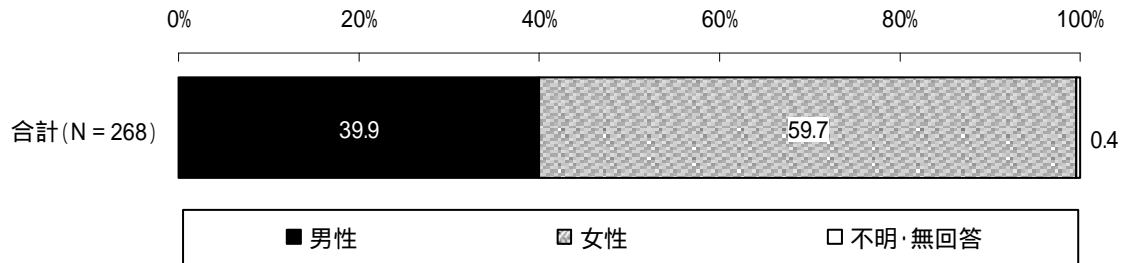


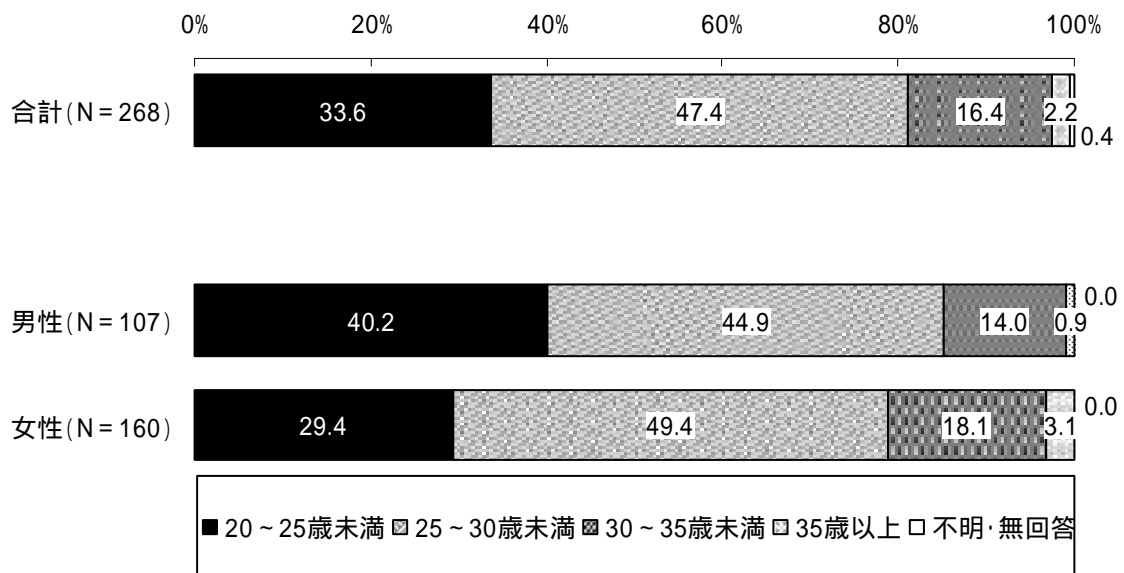
調査結果 (20代～30代市民調査)

1 回答者の属性

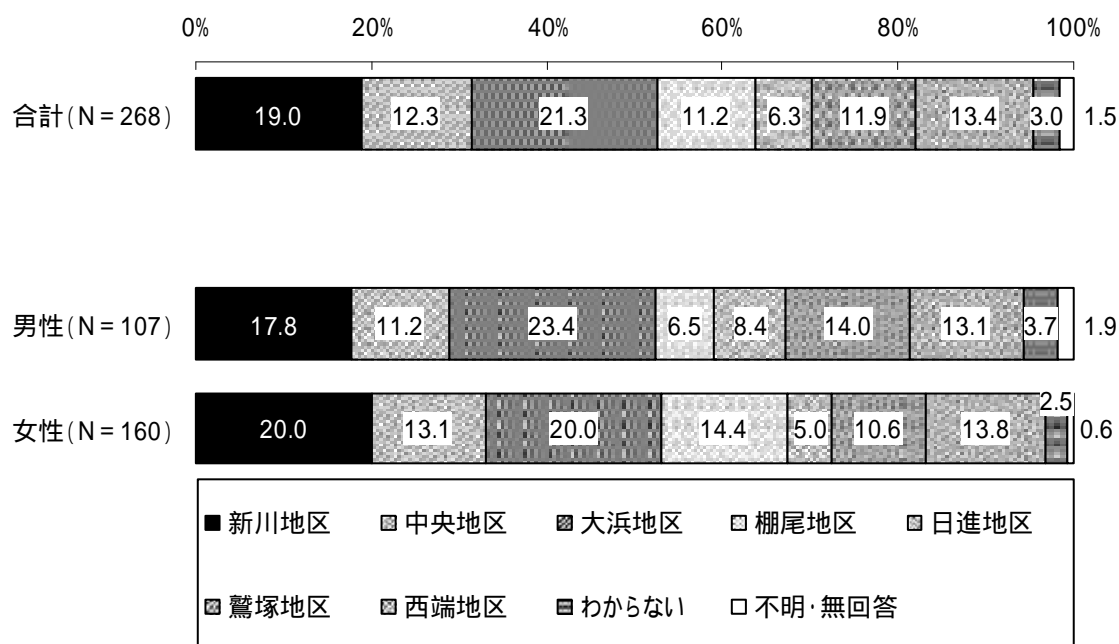
(1) 性別 (単数回答)



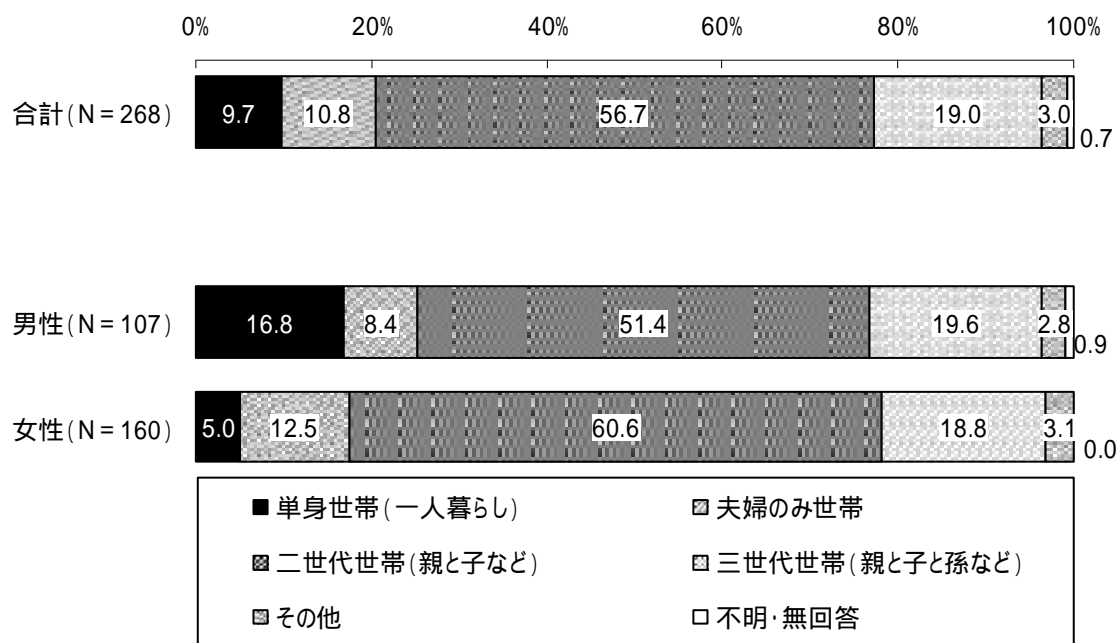
(2) 年齢 (数量回答)



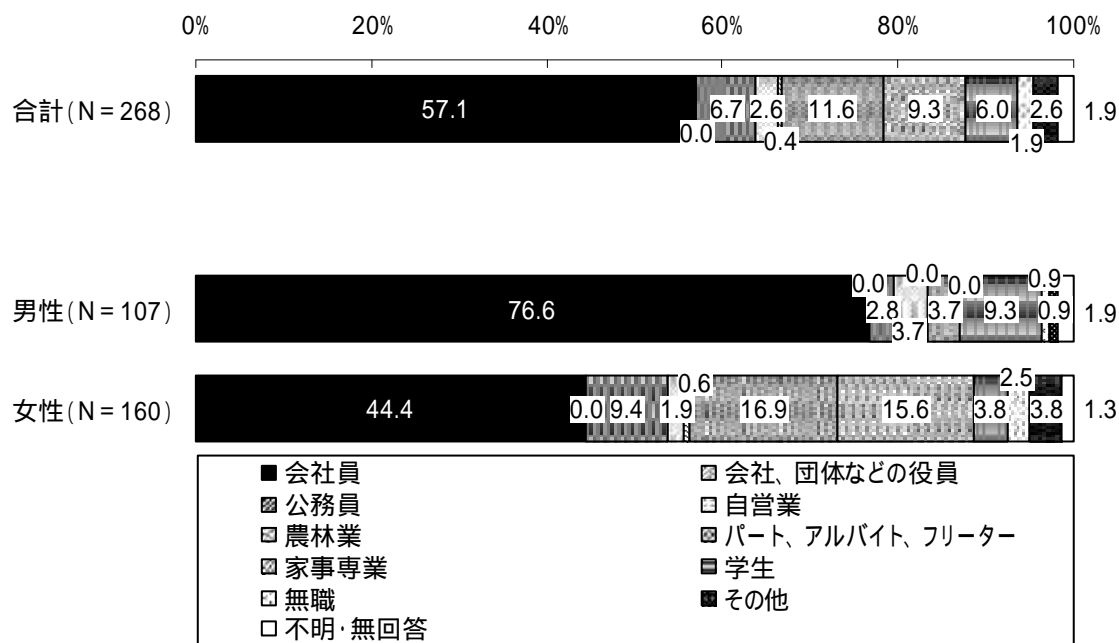
(3) 居住地区 (単数回答)



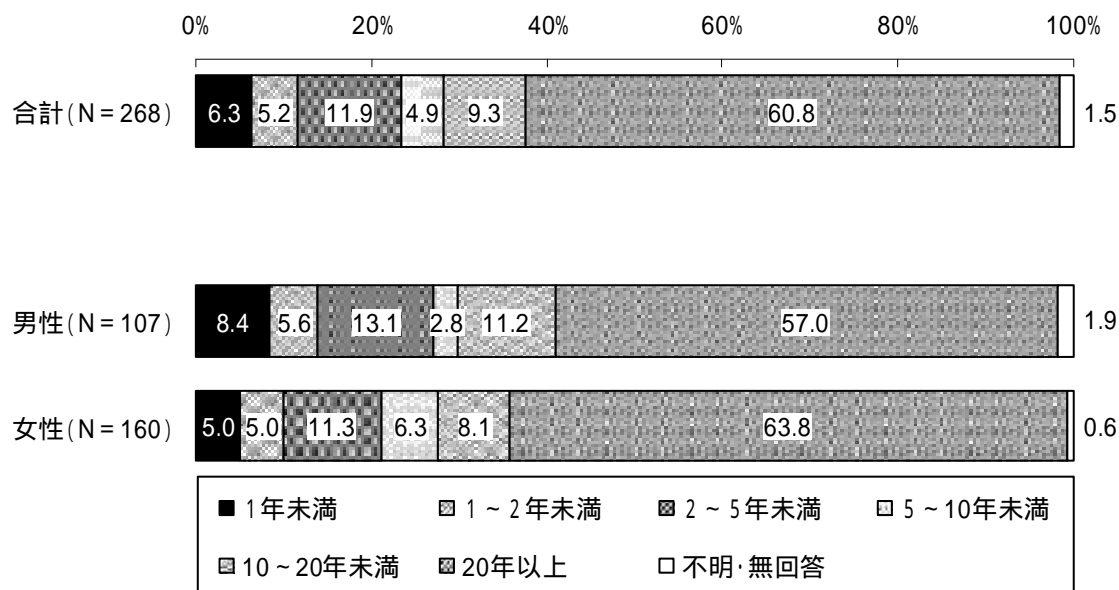
(4) 世帯の構成 (単数回答)



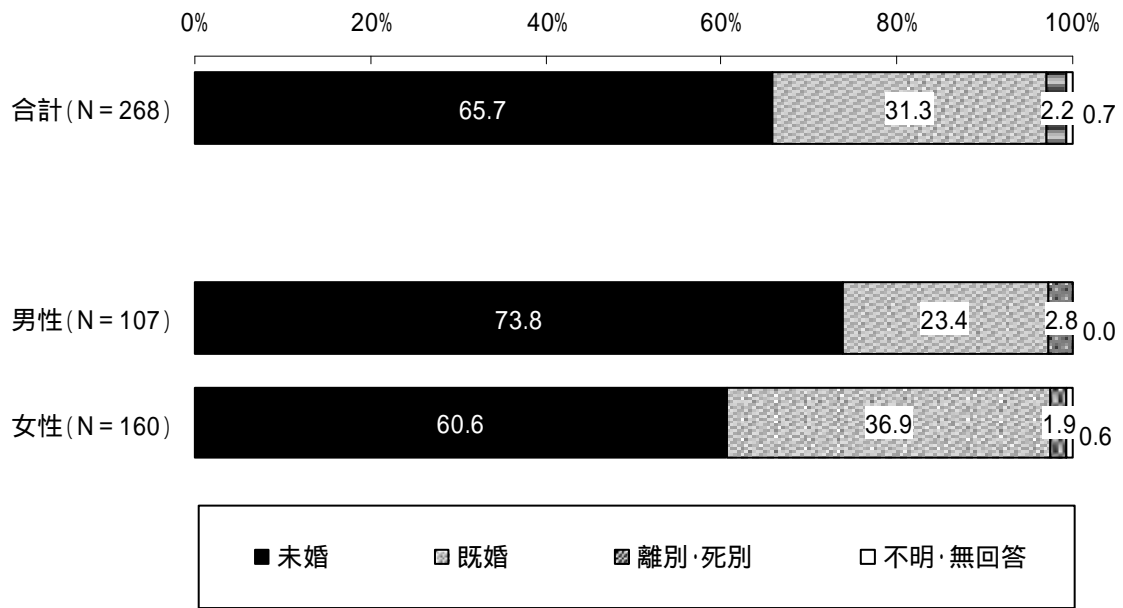
(5) 職業 (単数回答)



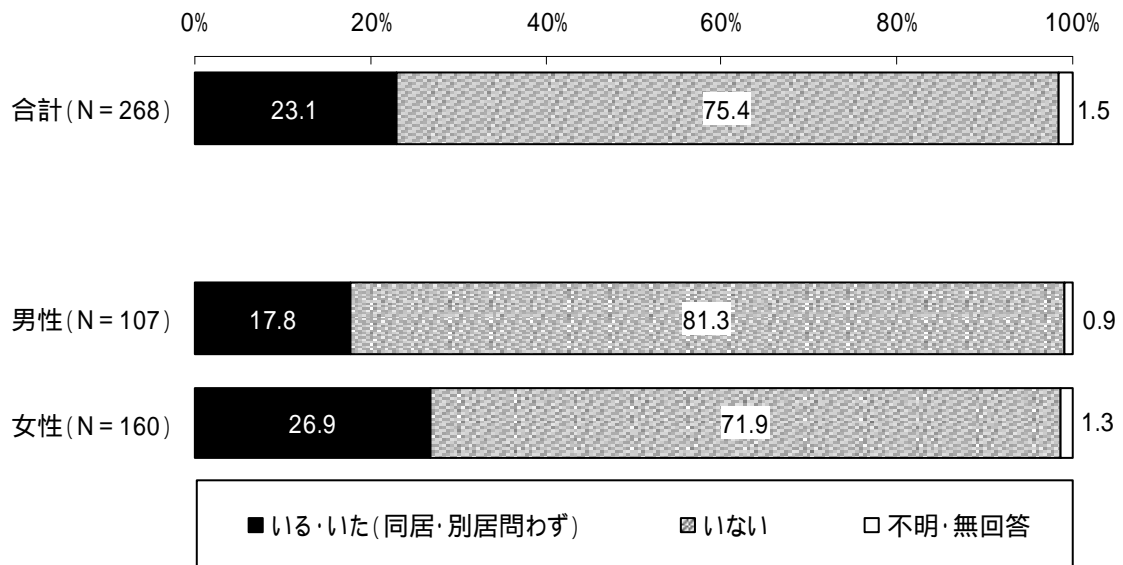
(6) 居住年数 (単数回答)



(7) 婚姻の状況 (単数回答)



(8) 子どもの有無 (単数回答)

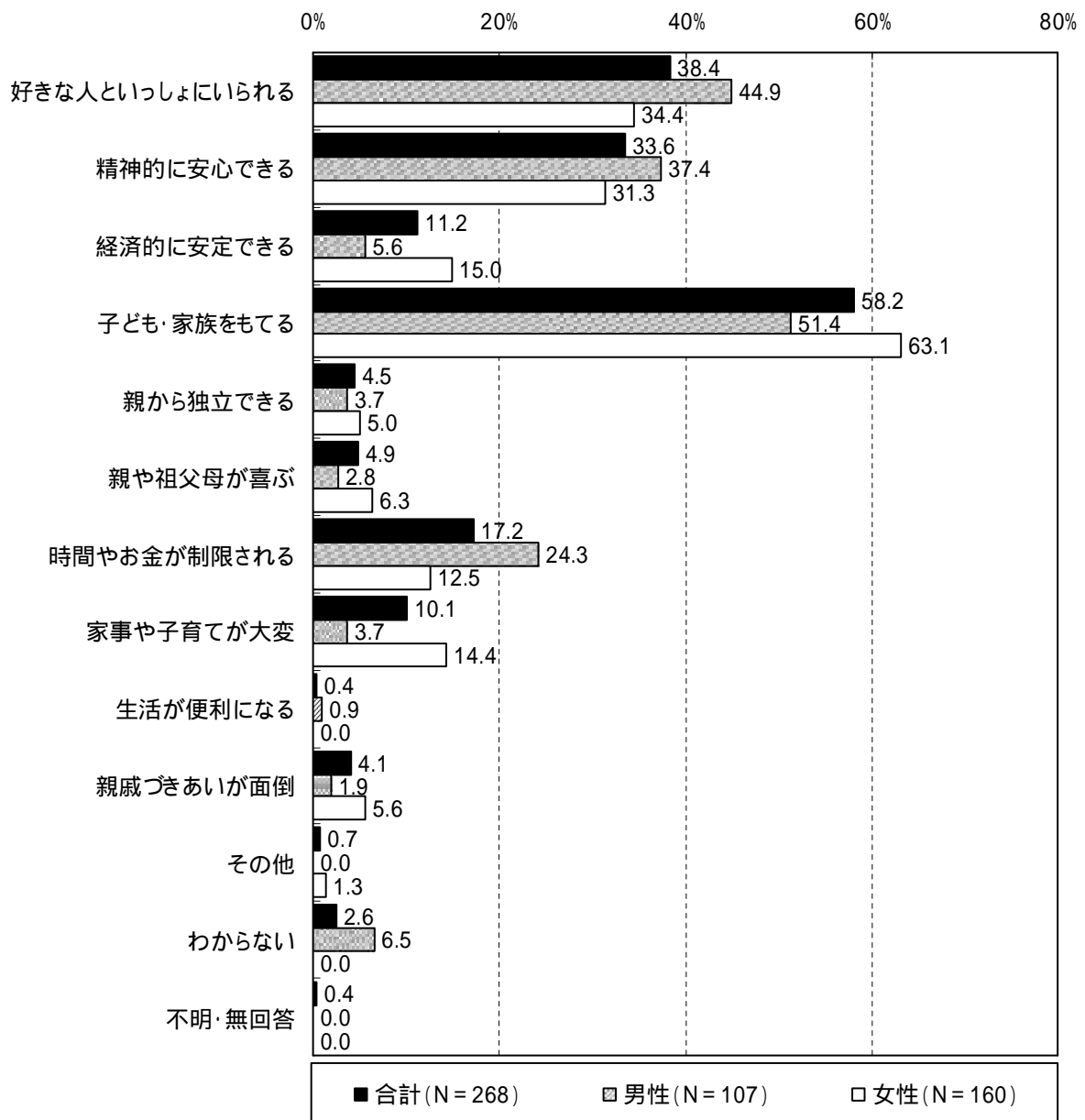


2 結婚について

(1) 結婚に対する考え(複数回答)

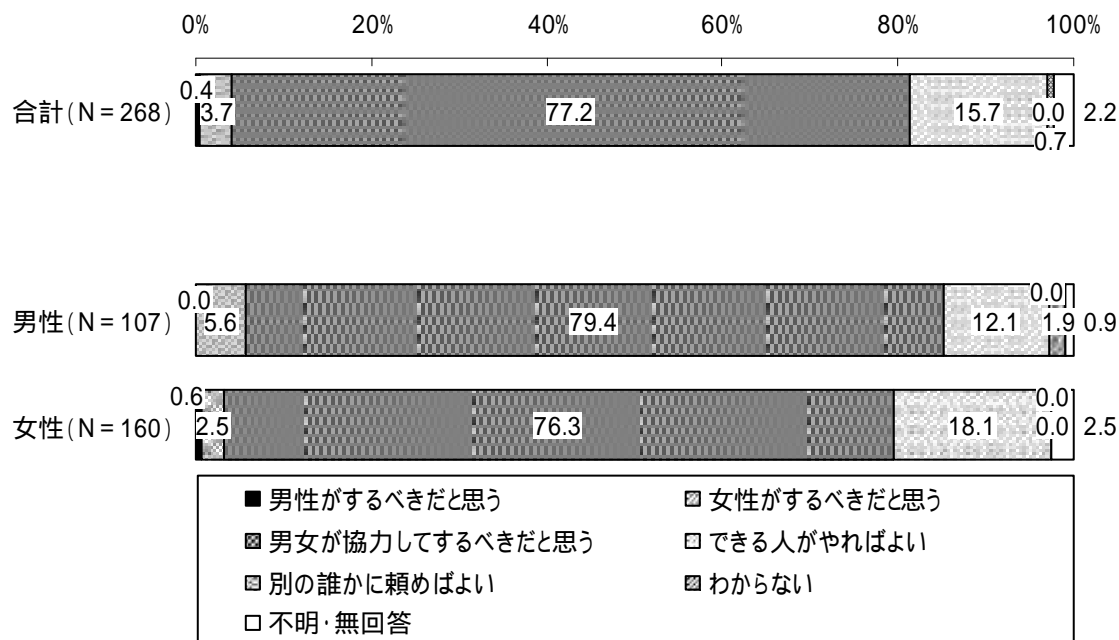
結婚に対する考えでは、「子ども・家族をもてる」が58.2%と最も高く、次いで「好きな人といっしょにいられる」が38.4%となっています。

性別でみると、女性では男性に比べ「経済的に安定できる」「家事や子育てが大変」が、男性では女性に比べ「時間やお金が制限される」がそれぞれ高くなっています



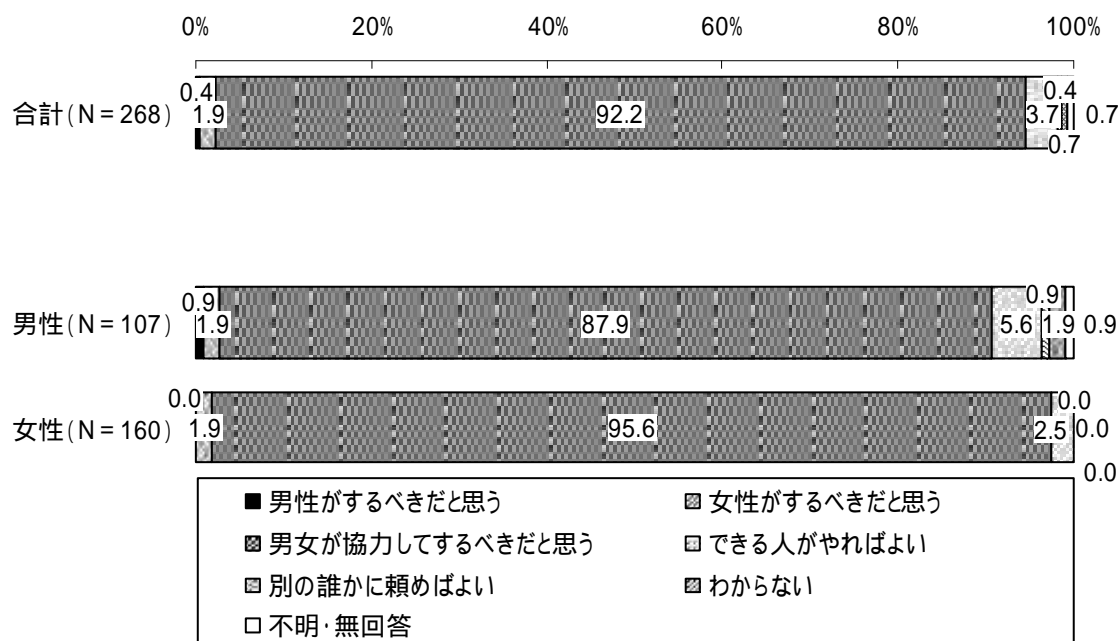
(2) 家庭での家事分担に対する考え (単数回答)

家庭での家事分担に対する考えでは、「男女が協力してすべきだと思う」が77.2%と最も高く、次いで「できる人がやればよい」が15.7%となっています。



(3) 子育て、家庭教育に対する考え (単数回答)

子育て、家庭教育に対する考えでは、家事分担とともに「男女が協力してすべきだと思う」が92.2%と最も高くなっています。

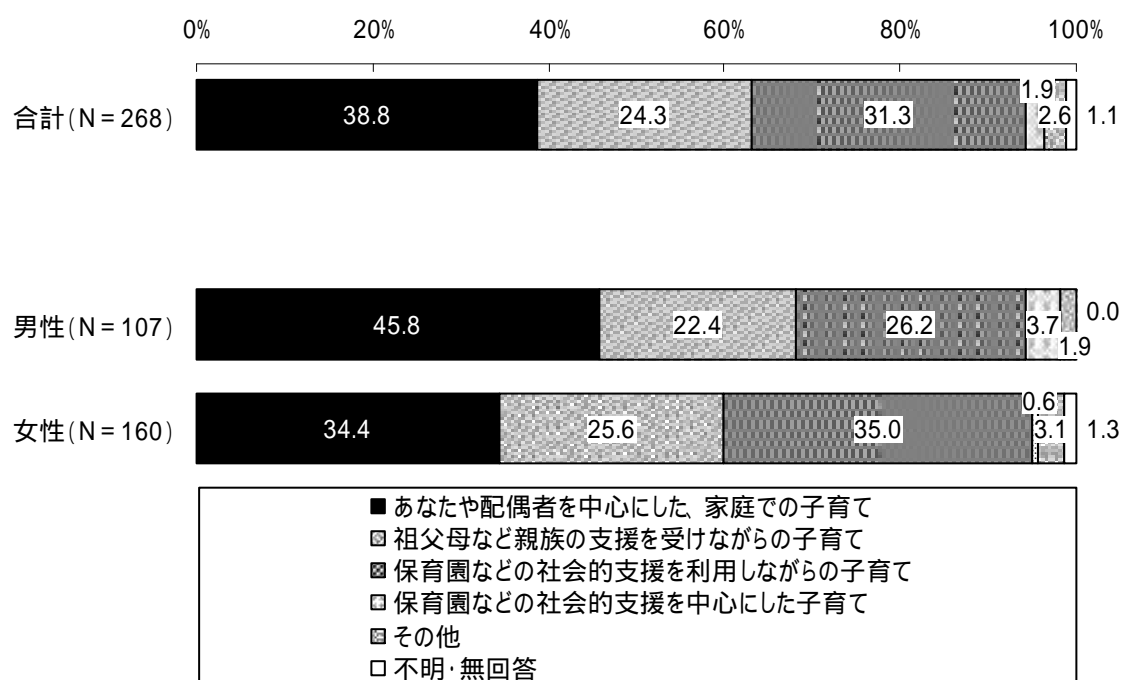


3 子育てについて

(1) 望ましい子育て(単数回答)

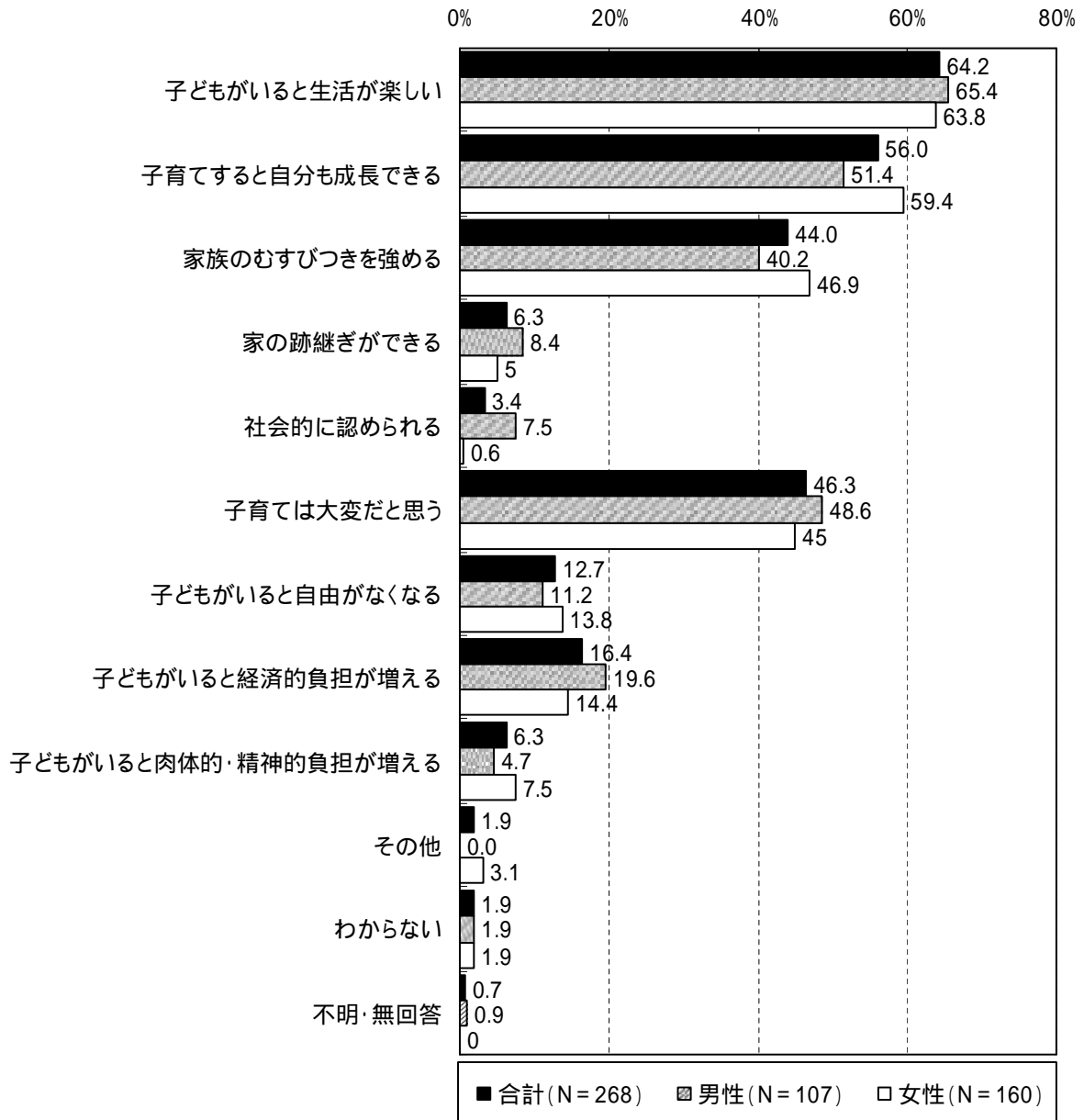
望ましい子育てでは、「あなたや配偶者を中心にした、家庭での子育て」が38.8%と最も高く、次いで「保育園などの社会的支援を利用しながらの子育て」が31.3%となっています。

性別でみると、男性では「あなたや配偶者を中心にした、家庭での子育て」が、女性では「保育園などの社会的支援を利用しながらの子育て」が最も高くなっています。



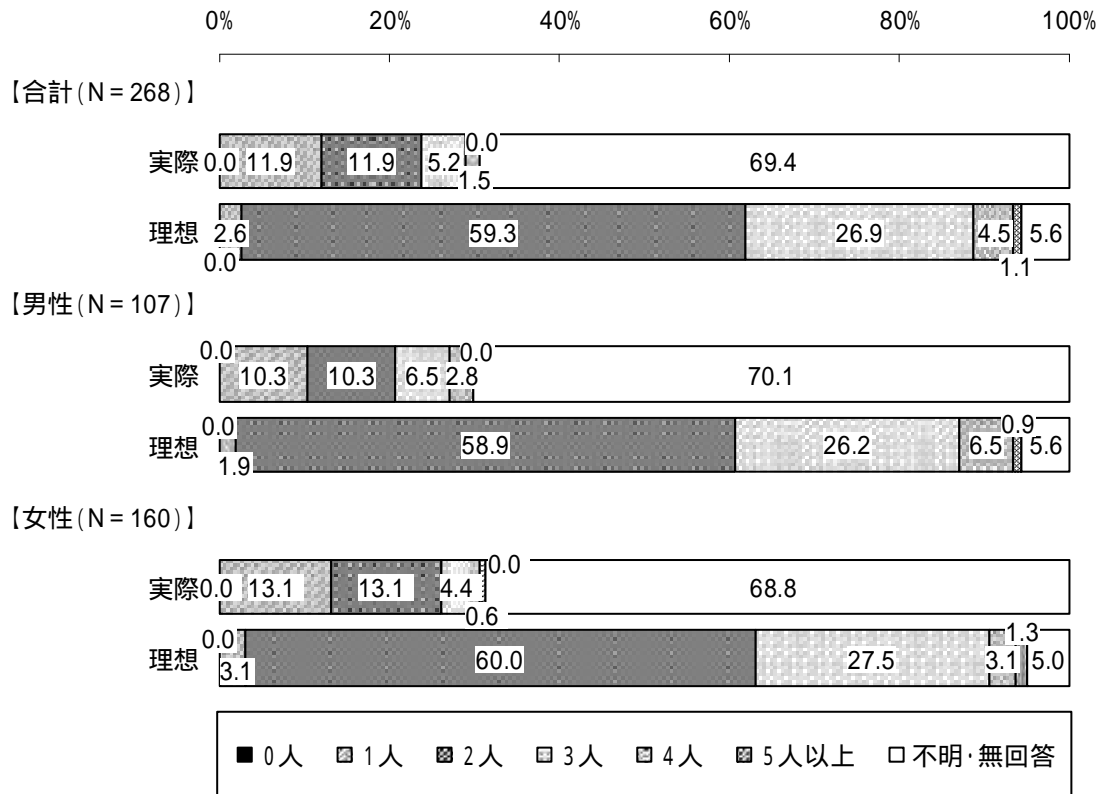
(2) 子どもを持つことに対する考え(複数回答)

子どもを持つことに対する考えでは、「子どもがいると生活が楽しい」が64.2%と最も高く、次いで「子育てすると自分も成長できる」が56.0%となっています。



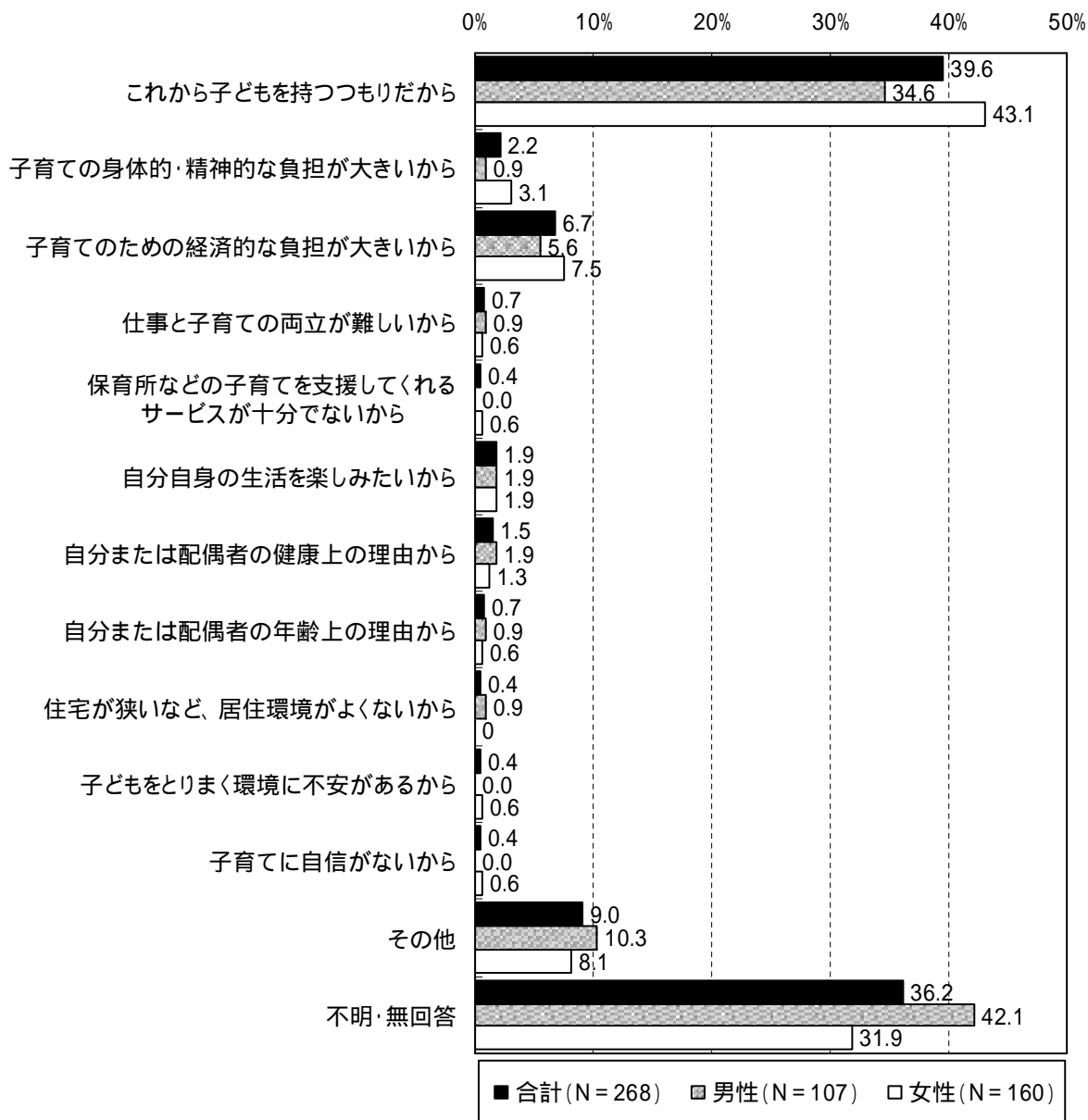
(3) 実際の子どもの人数と理想とする子どもの人数(単数回答)

実際の子どもの人数は「1人」「2人」が11.9%となっており、理想とする子どもの人数では「2人」が59.3%、「3人」が26.9%となっています。



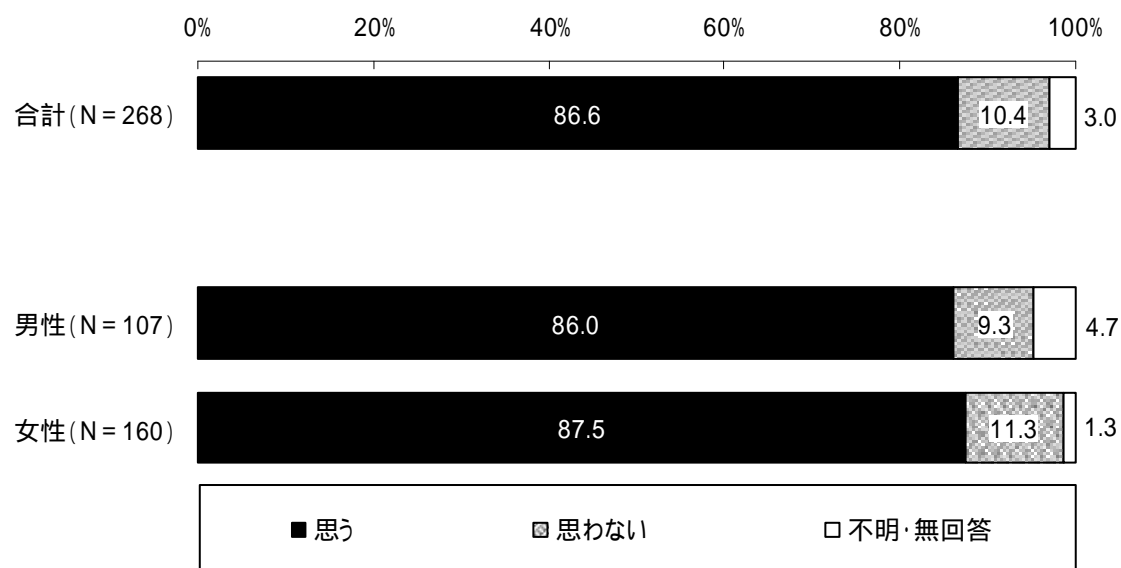
(4) 実際の子どもの人数が理想の人数よりも少ない理由(単数回答)

実際の子どもの人数が理想の人数よりも少ない理由では、「これから子どもを持つつもりだから」が39.6%となっています。



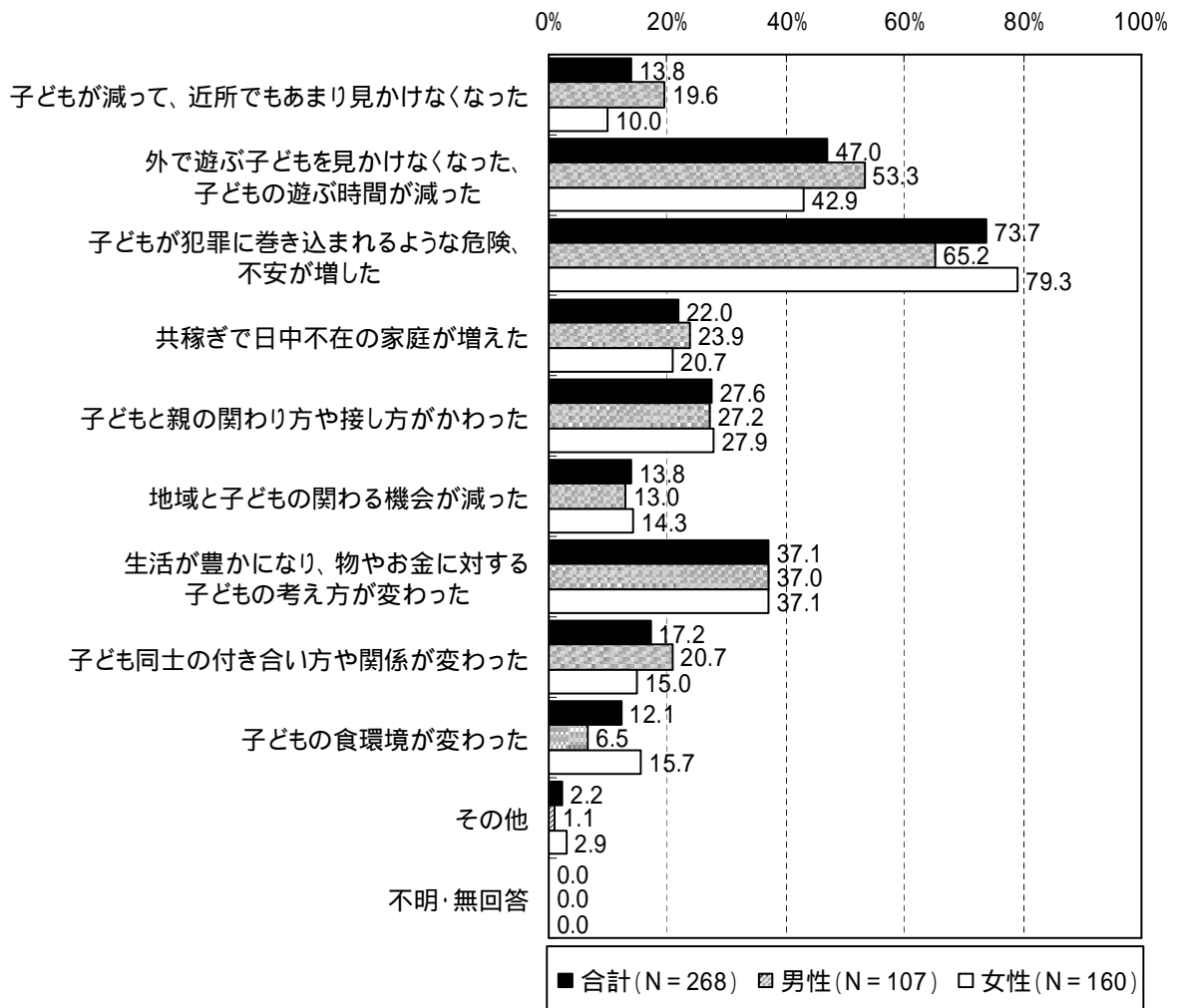
(5) 子どもをとりまく環境が変わってきたと思うか(単数回答)

子どもをとりまく環境の変化については、変わってきたと「思う」が 86.6%と、大部分を占めています。



(6) 子どもをとりまく環境が変わってきたと思うこと(複数回答)

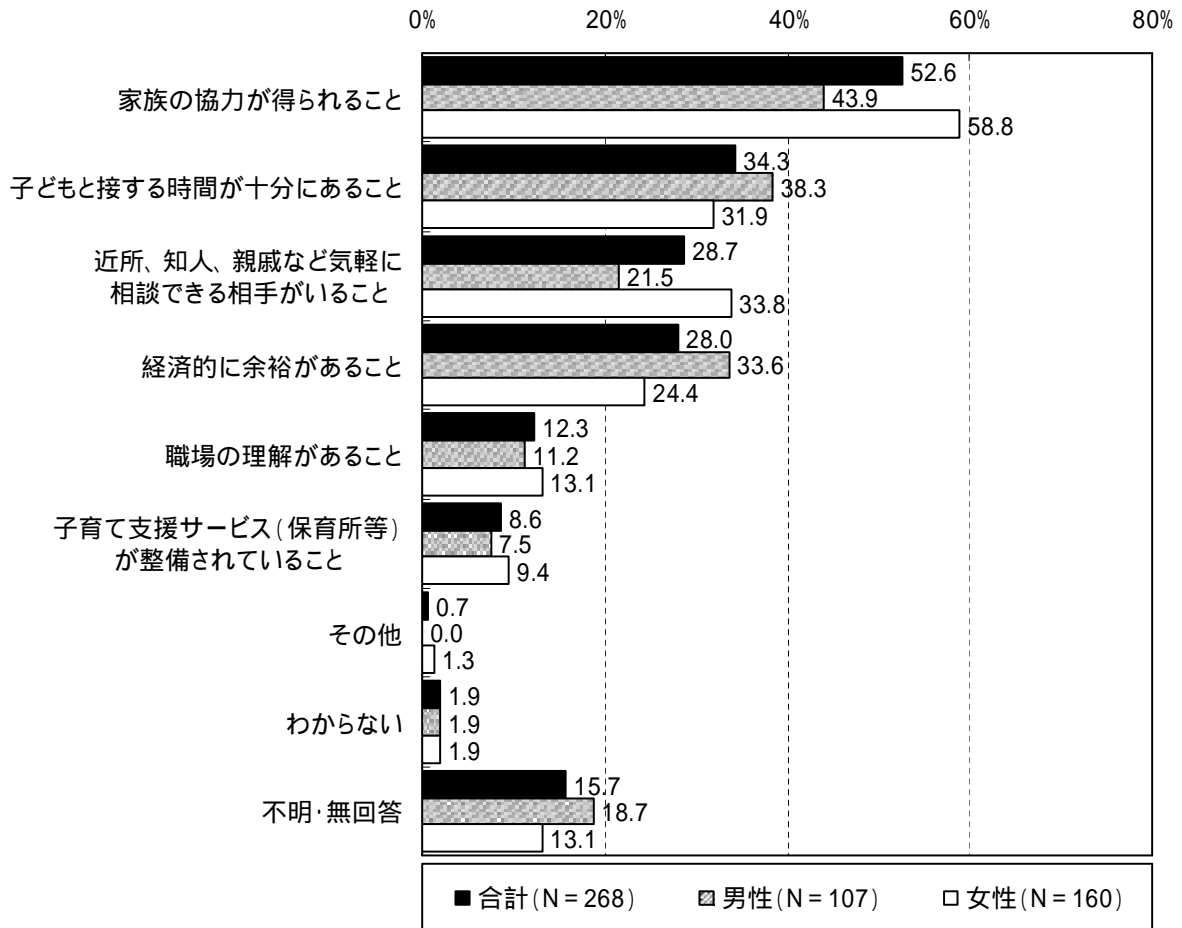
子どもをとりまく環境が変わってきたと思うことでは、「子どもが犯罪に巻き込まれるような危険、不安が増した」が73.7%と最も高く、次いで「外で遊ぶ子どもを見かけなくなった、子どもの遊ぶ時間が減った」が47.0%となっています。



(7) 心のゆとりや自信をもって子育てをするために特に必要こと(複数回答)

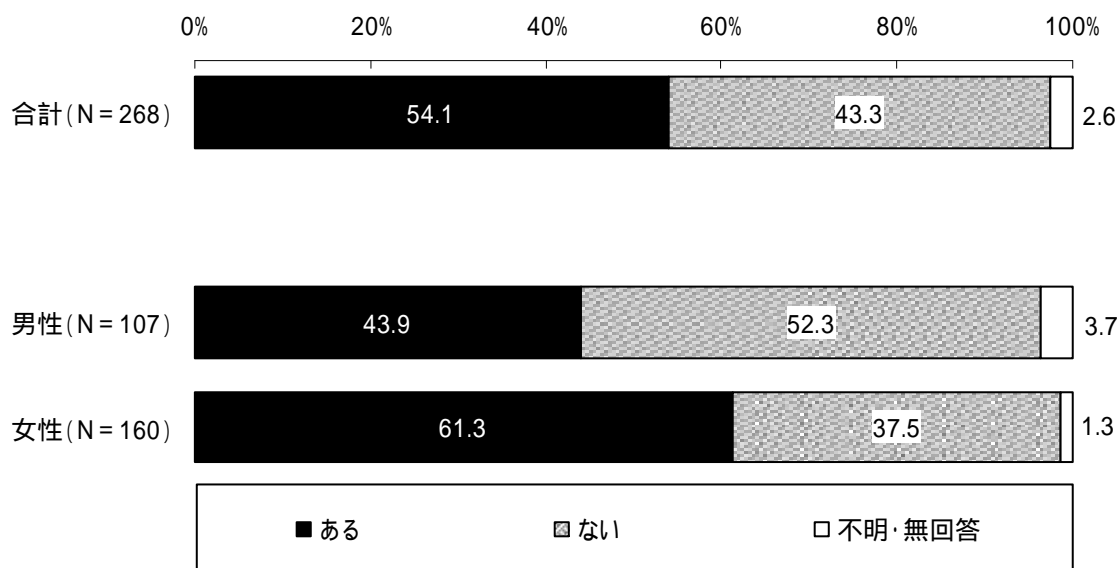
心のゆとりや自信をもって子育てをするために特に必要ことでは、「家族の協力が得られること」が52.6%と最も高くなっています。

男女別で見ると、男性に比べ女性で「家族の協力が得られること」、「近所、知人、親戚など気軽に相談できる相手がいること」が高くなっています。



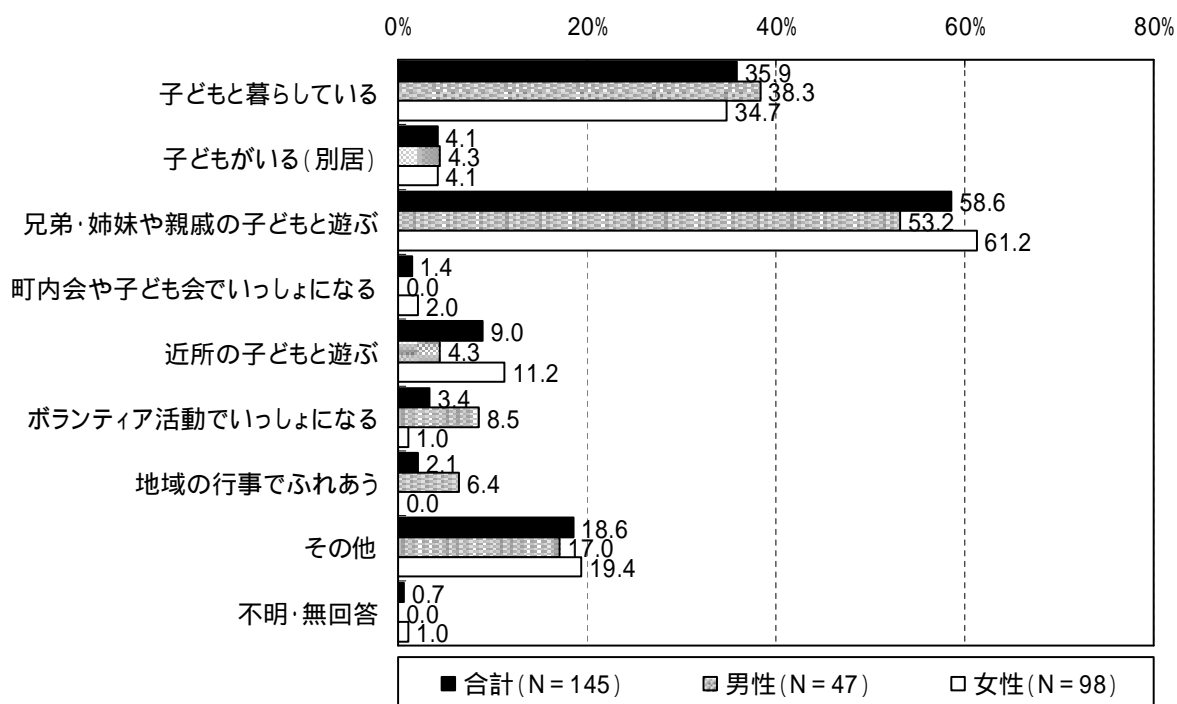
(8) 小学校に入る前の乳幼児とふれあう機会の有無 (単数回答)

乳幼児とふれあう機会の有無では、「ある」が54.1%、「ない」が43.3%となっています。性別で見ると、男性に比べて女性でふれあう機会が「ある」割合が高くなっています。



(9) 乳幼児とふれあう機会は、どのような時か (複数回答)

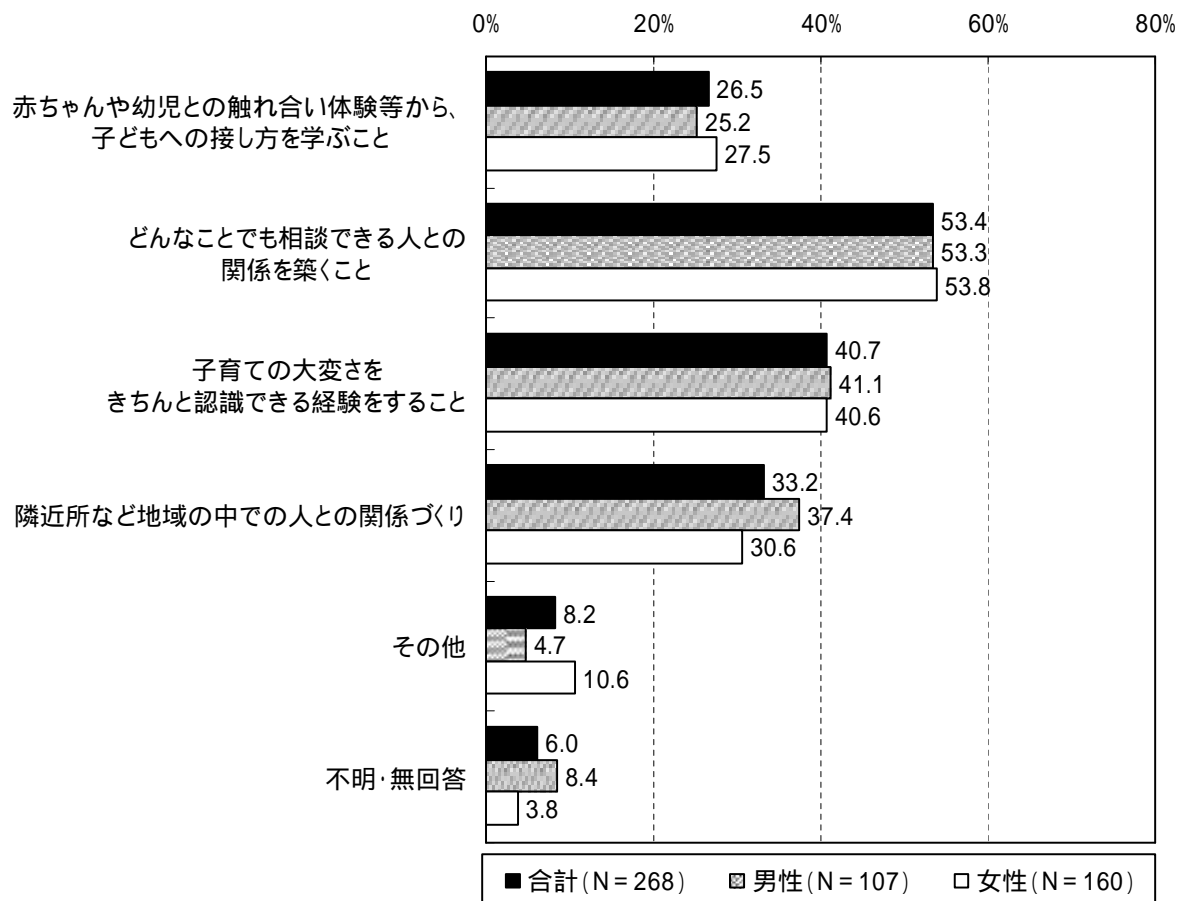
どのような時に乳幼児とふれあうかでは、「兄弟・姉妹や親戚の子どもと遊ぶ」が58.6%と最も高くなっています。また、男性に比べて女性では「近所の子どもと遊ぶ」の割合が高くなっています。



(10) 子どもたちが将来親になるために、どんな経験をつみ、どんな力をつけるべきだと思うか(複数回答)

親になるために必要なことでは、「どんなことでも相談できる人との関係を築くこと」が53.4%と最も高くなっています。

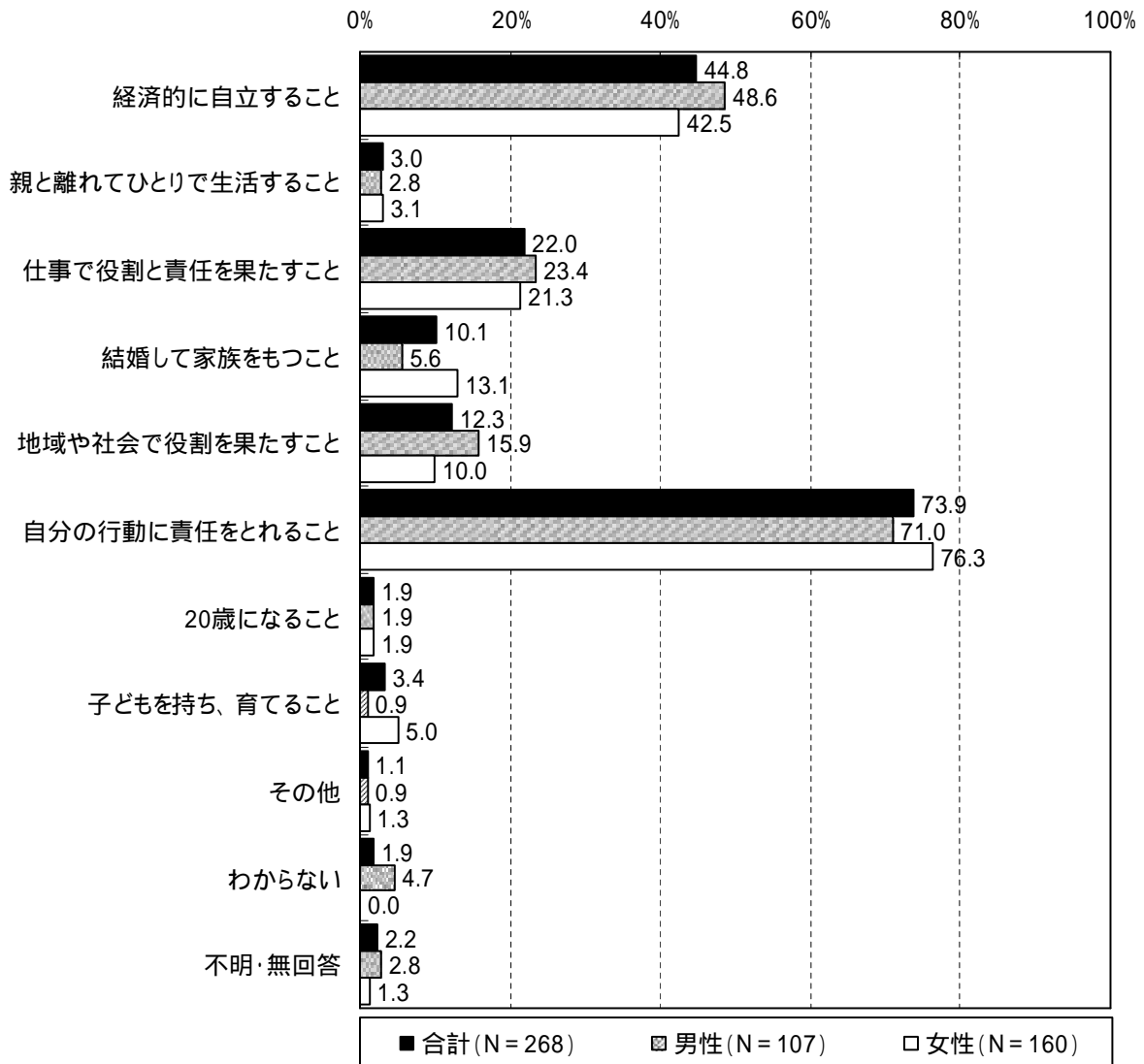
性別でみても大きな差異はありません。



4 仕事や家庭生活について

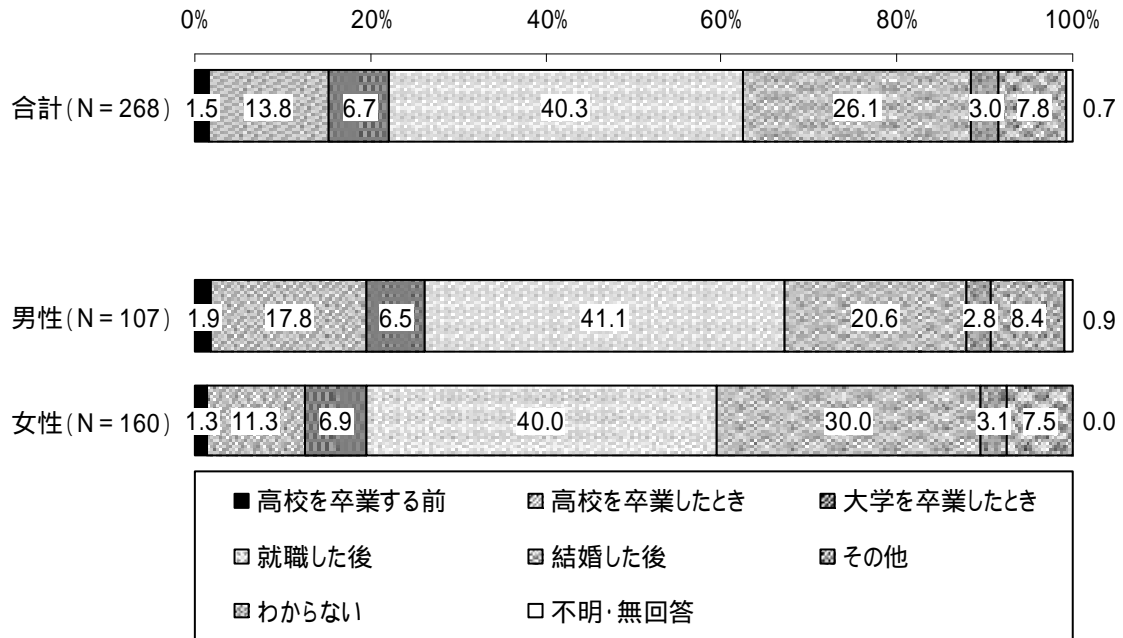
(1) 大人になるとはということだと思いか(複数回答)

大人になることについては、「自分の行動に責任をとれること」が73.9%と最も高く、次いで「経済的に自立すること」が44.8%となっています。



(2) 子が親から自立する時期はいつ頃だと思うか(単数回答)

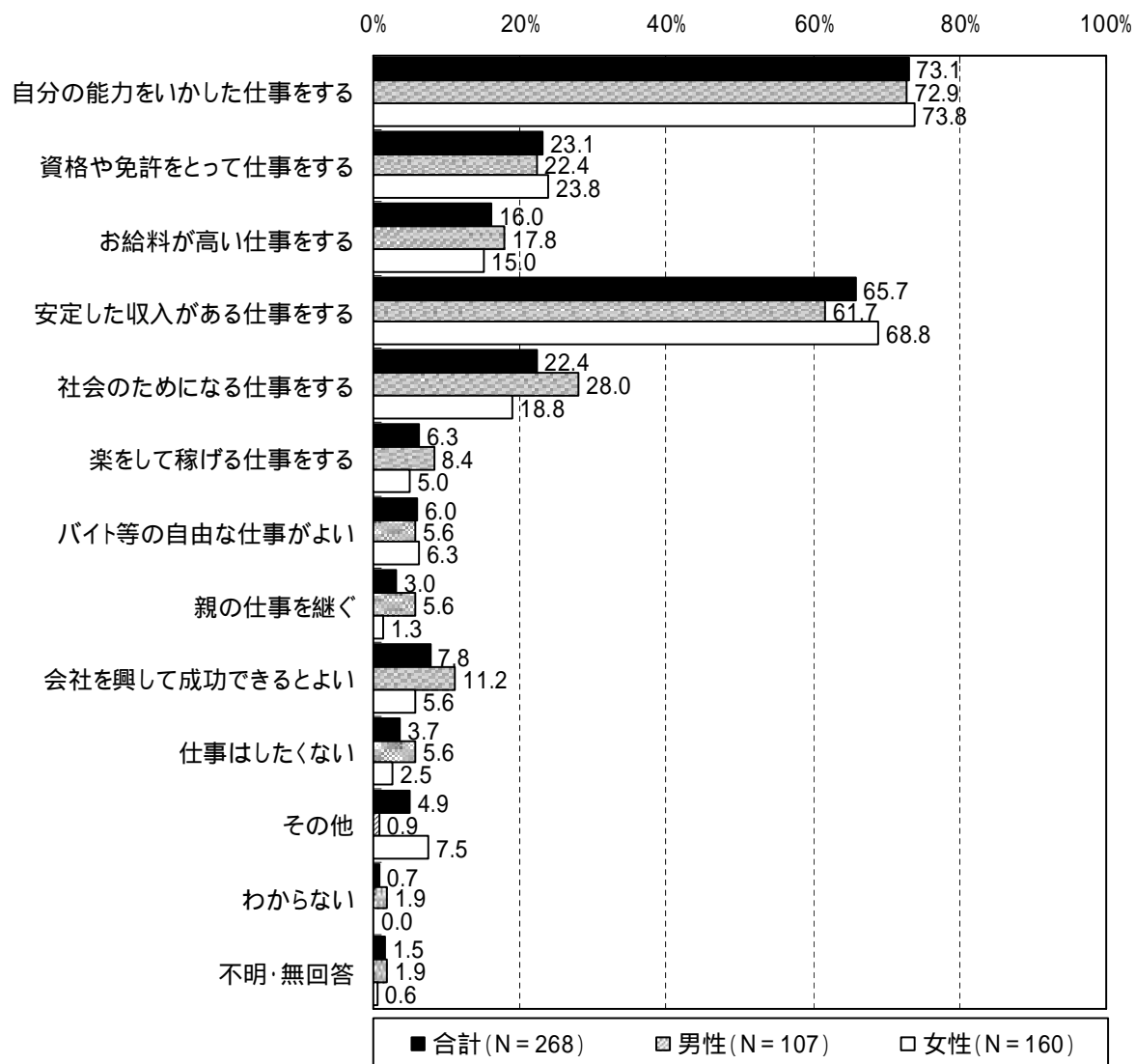
子が親から自立する時期では、「就職した後」が40.3%と最も高く、次いで「結婚した後」が26.1%となっています。



(3) 望ましい働き方(複数回答)

望ましい働き方では、「自分の能力をいかした仕事をする」が73.1%と最も高く、次いで「安定した収入がある仕事をする」が65.7%となっています。

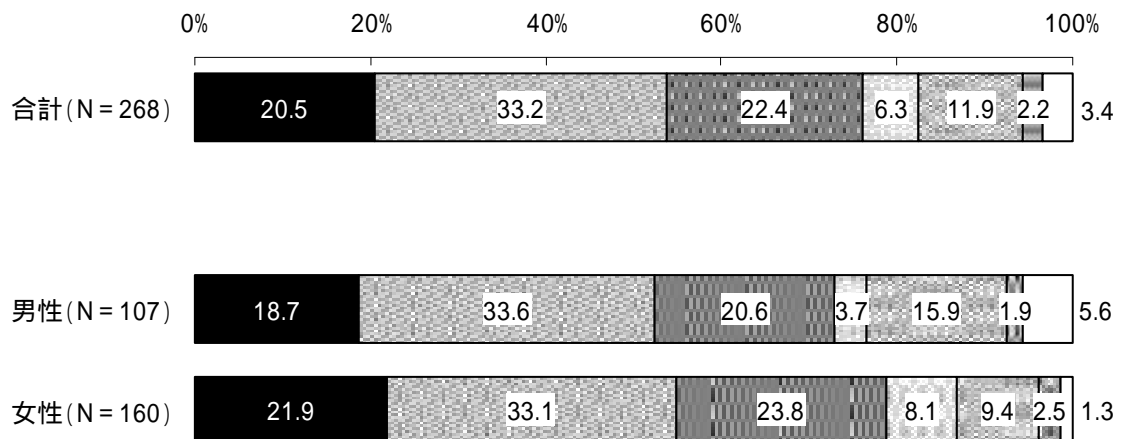
性別でみると、男性では女性に比べて「社会のためになる仕事をする」が、女性では男性に比べて「安定した収入がある仕事をする」が比較的高くなっています。



(4) 子どもができた場合の就労(単数回答)

子どもができた場合の就労では、「夫婦のどちらかが、子どもが3歳くらいになるまでは家事や子育てに専念し、その後共働き」が33.2%と最も高く、次いで「夫婦のどちらかが、子どもが小学校に入学するまでは家事や子育てに専念し、その後共働き」が22.4%となっています。

性別で見ると、男性では女性に比べて「子どもが産まれたら夫婦のどちらかが仕事をやめて、家事や子育てに専念」が比較的高くなっています。

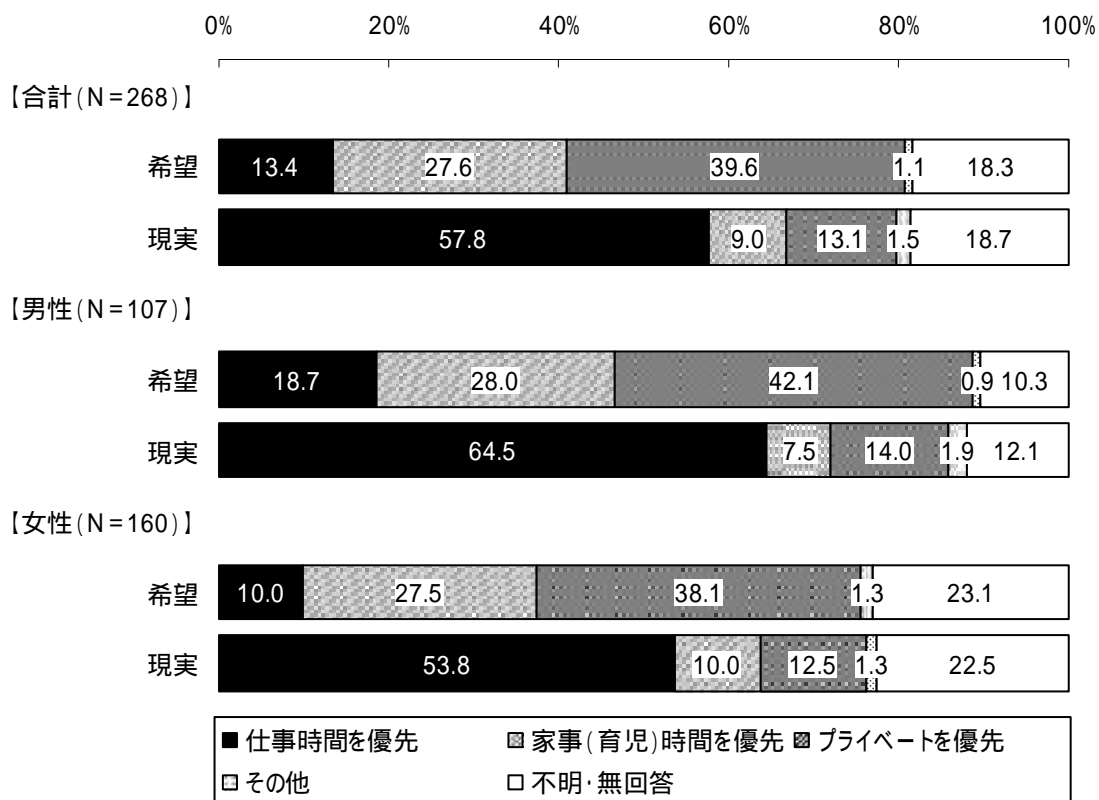


- 夫婦で共働き
- ▣ 夫婦のどちらかが、子どもが3歳くらいになるまでは家事や子育てに専念し、その後共働き
- ▤ 夫婦のどちらかが、子どもが小学校に入学するまでは家事や子育てに専念し、その後共働き
- ▥ 夫婦のどちらかが、子どもが中学校に入学するまでは家事や子育てに専念し、その後共働き
- ▦ 子どもが産まれたら夫婦のどちらかが仕事をやめて、家事や子育てに専念
- ▧ その他
- 不明・無回答

(5) 生活の中の「仕事時間」と「家事(育児)・プライベートの生活時間」の優先度(単数回答)

生活の優先度では、希望では「プライベートを優先」が39.6%と最も高いものの、現実では「仕事時間を優先」が57.8%と最も高くなっています。

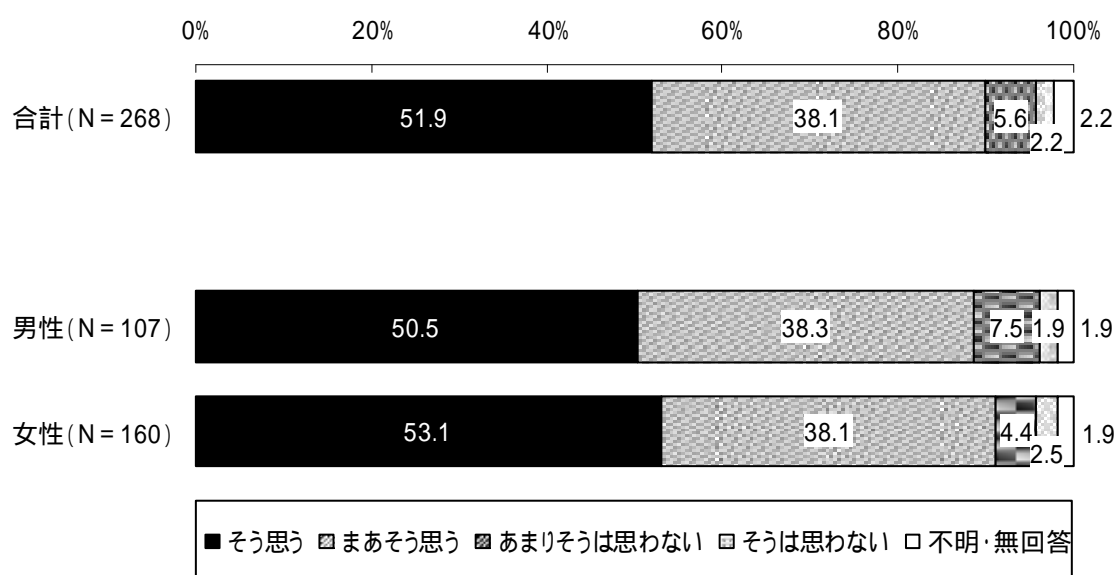
性別でみると、男女とも大きな差異はありませんが、比較的男性では希望としても「仕事時間を優先」で18.7%みられます。



5 地域の中での子育てについて

(1) 子育てに対して、地域全体での取り組みが必要だと思うか(単数回答)

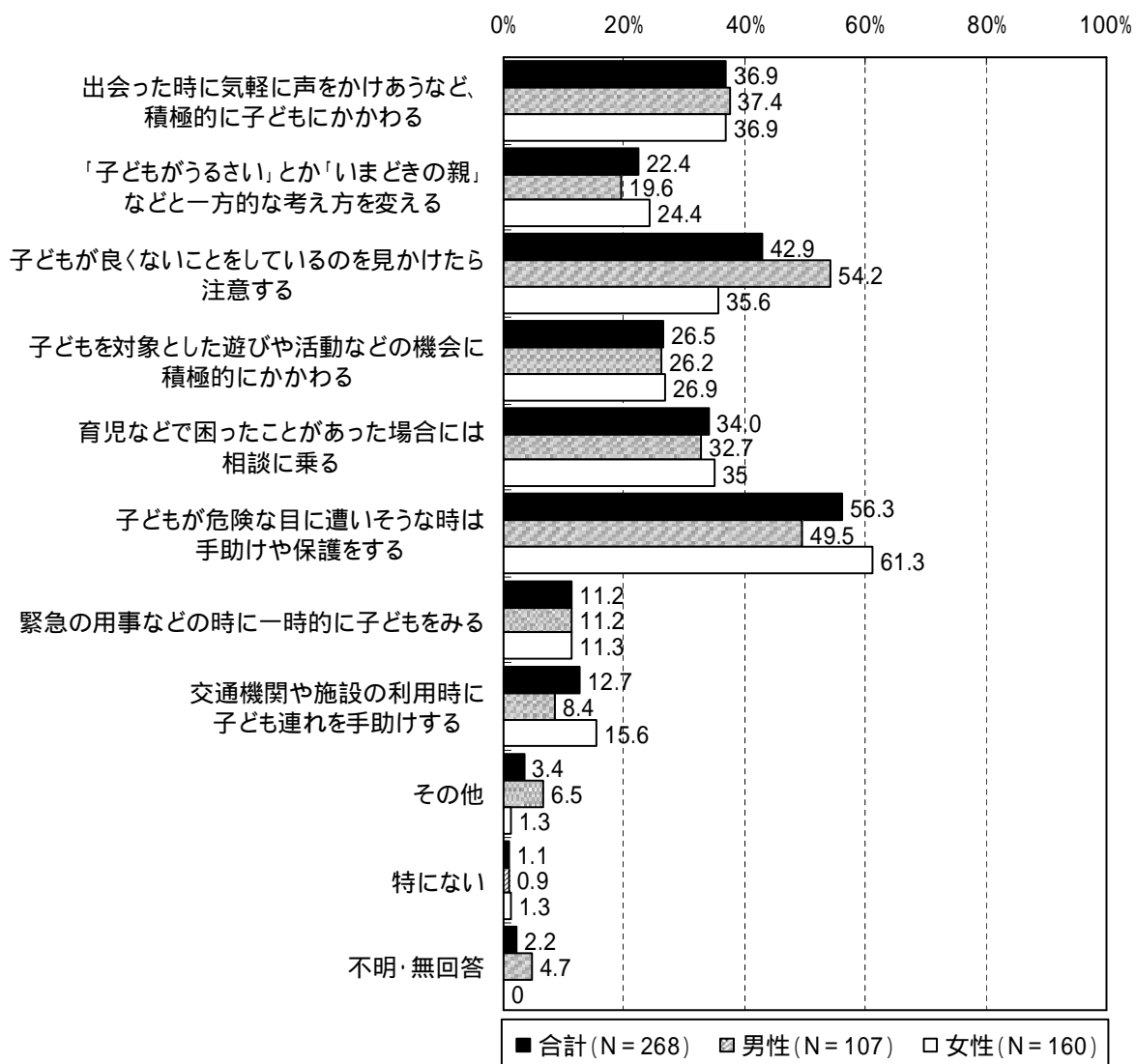
子育てに対して、地域全体での取り組みが必要だと思うかでは、「そう思う」が51.9%と最も高くなっており、「そう思う」「まあそう思う」を合わせた割合は90.0%と、大部分を占めています。性別でみても大きな差異はありません。



(2) 地域の親子の子育て支援のために必要なこと(複数回答)

地域の親子の子育て支援のために必要なことでは、「子どもが危険な目に遭いそうな時は手助けや保護をする」が56.3%と最も高く、次いで「子どもが良くないことをしているのを見かけたら注意する」が42.9%となっています。

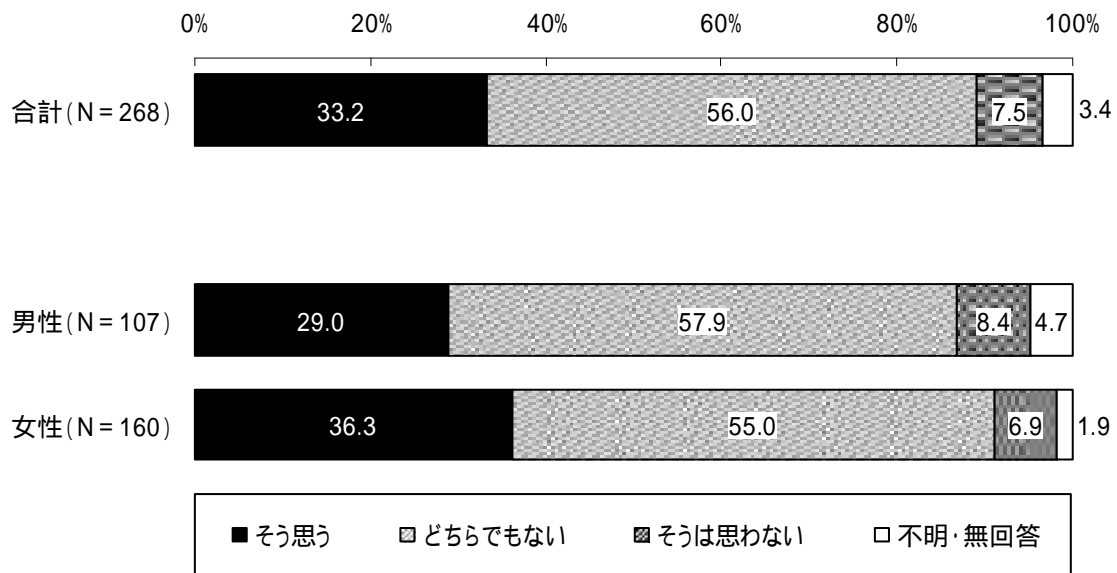
性別で見ると、男性では「子どもが良くないことをしているのを見かけたら注意する」が最も高く、女性では「子どもが危険な目に遭いそうな時は手助けや保護をする」がそれぞれ最も高くなっており、違いがあらわれています。



6 子育て全般について

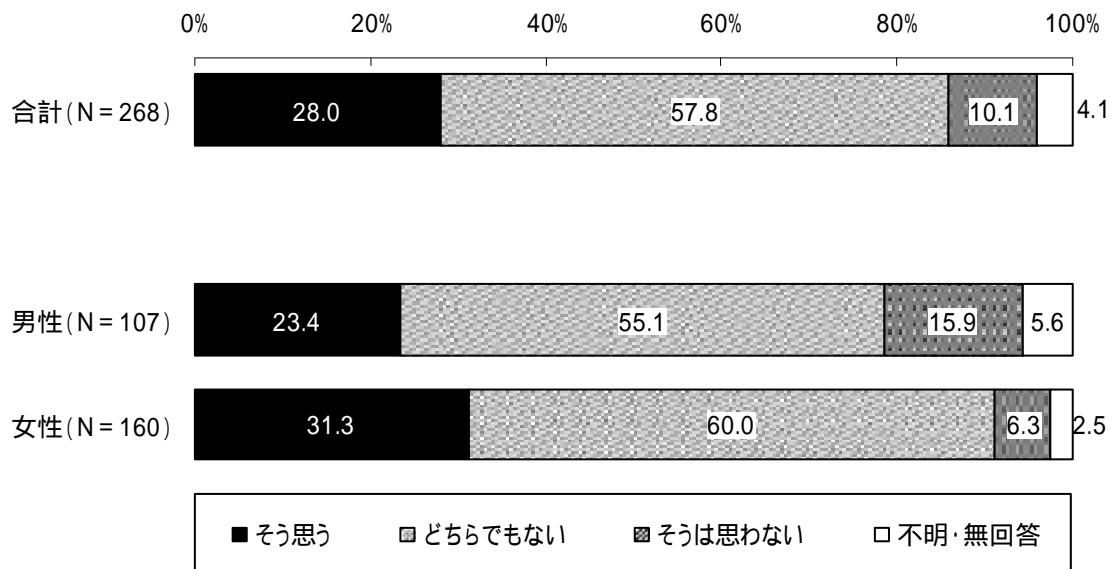
(1) 碧南市は子育てしやすいまちだと思うか(単数回答)

子育てしやすいまちかどうかの評価では、「そう思う」が33.2%、「そうは思わない」が7.5%となっており、「どちらでもない」が56.0%と最も高くなっています。



(2) 碧南市は子どもの成長・教育によいまちだと思うか(単数回答)

子どもの成長・教育によいまちかどうかの評価では、「そう思う」が28.0%、「そうは思わない」が10.1%となっており、「どちらでもない」が57.8%と最も高くなっています。



(3) どのような子育て支援の充実を図って欲しいか(複数回答)

どのような子育て支援の充実を図ってほしいかでは、「子育てにかかる費用負担を軽減してほしい」が59.7%と最も高く、次いで「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が50.0%となっています。

